

## 令和2年度 ほうゆう保育園の自己評価

令和3年3月29日

・緊急事態宣言で始まった新年度。横浜市からの要請に沿って登園自粛をお願いした。受け入れが全面解除となったのは7月からだった。その間 在園児が保育園生活を思い出せるよう、新入園児が保育園はどんなところかわかるようにと 毎日「ほうゆうチャンネル」という歌やダンス、紙芝居などの動画を配信した。保育士にとっても子ども達と繋がれるツールとなった。こどもたちにも保護者の方にも好評だったことをうれしく思う。

・三密を避けるために プール遊びや保護者参観の誕生会 発表会 遠足は中止とした。運動会は4・5歳児のみ 参観人数も制限しての開催とした。行事は縮小したり 今までとは形も時間も変えたり その都度最善の方法を模索してきた。ひとつひとつ考えながら進めることになり じっくりと保育を見直す1年になった。

・登降園は玄関で行い 保護者の入室は禁止。マスク、消毒、検温、換気の徹底で感染を防いできた。今のところ感染者は出ていない。また 例年冬に流行るインフルエンザやノロウイルス感染症にかかる子もいなかった。健康に過ごせたことはよかった。

・給食職員の退職が続いてしまい、新しい職員の採用もかなわず 12月から安田物産の弁当を配達してもらうことになってしまった。できる範囲ということで お替り用のご飯、汁物、果物、おやつは提供は続けた。栄養士の採用もでき 4月からは完全給食に戻れるめどが立った。今後も 安心安全 おいしい給食を提供していきたい。

・一人一人の子どもの成長に寄り添った保育が出来たと思う。